

文教関係

(教育委員会)

事業名	事業費	説明
小学校整備	12億2,920万円	校舎耐震化対策 1億8,030万円
	財源内訳	耐震補強工事等 1校
	〔国庫補助金 7,536万1千円〕	似島学園
	市債 8億9,250万円	非構造部材の耐震化対策 5,000万円
	〔一般財源 2億6,133万9千円〕	窓ガラス飛散防止 2,800万円
		フィルム設置 43校
		照明器具落下防止 1,060万円
		ワイヤー設置 49校
		バスケットゴール落下防止 35万円
		ワイヤー設置 4校
		バトン・放送設備落下防止 1,105万円
		調査 52校 85万円
		改修 51校 1,020万円
		空調設備整備 2,650万円
		実施設計、設置工事 1校
		似島学園
		トイレの洋式化 2億8,150万円
		和式から洋式への便器取替に計画的に取り組む。 (30年度 62校)
		福祉環境整備 1校 1,200万円
		身体障害者等対応便所設置等

事業名	事業費	説明
		伴小学校歩道橋延伸工事 2,000万円 一般整備その他 6億5,890万円
中学校整備	6億4,190万8千円 財源内訳 〔 国庫補助金 2,253万7千円 市債 5億4,080万円 一般財源 7,857万1千円 〕	祇園中学校校舎増築 2,470万8千円 （スケジュール） 30年度 地質調査、実施設計 31・32年度 増築工事等 校舎耐震化対策 1億8,710万円 耐震補強工事等 1校 似島学園 非構造部材の耐震化対策 910万円 窓ガラス飛散防止 350万円 フィルム設置 4校 照明器具落下防止 210万円 ワイヤー設置 7校 バスケットゴール落下防止 155万円 ワイヤー設置 18校 バトン・放送設備落下防止 195万円 調査 9校 15万円 改修 9校 180万円

事業名	事業費	説明
		空調設備整備 2,810万円 実施設計、設置工事 1校 似島学園 一般整備その他 3億9,290万円
高等学校整備	29億9,826万6千円 財源内訳 〔 県負担金 10億7,518万3千円 〕 市債 18億6,720万円 一般財源 5,588万3千円	校舎耐震化対策 2億1,770万円 耐震補強工事 1校 広島商業 非構造部材の耐震化対策 190万円 窓ガラス飛散防止 150万円 フィルム設置 1校 照明器具落下防止 30万円 ワイヤー設置 1校 バasketボールゴール落下防止 10万円 ワイヤー設置 1校 天井等落下防止対策 2億3,800万円 実施設計 1校 100万円 広島商業 改修工事 3校 2億3,700万円 広島商業、沼田、美鈴が丘

事業名	事業費	説明
		広島みらい創生高等学校整備 23億5,136万6千円 県立及び市立の定時制・通信制高校を、県市共同で、従来の定時制・通信制課程の枠組みに捉われない新しいタイプの市立高校に再編整備する。 (スケジュール) 26・27年度 基本・実施設計等 28・29年度 解体工事、建設工事 30年度 建設工事、解体工事、外構工事等 31年度 外構工事等 一般整備その他 1億8,930万円

事業名	事業費	説明						
特別支援学校整備	6,800万円 財源内訳 〔市債 3,220万円〕 〔一般財源 3,580万円〕	広島特別支援学校校舎増築 6,100万円 基本計画等 800万円 基本・実施設計等 5,300万円 整備場所 南区出島二丁目 (スケジュール) 29年度 基本計画 30年度 基本計画、基本・実施設計等 31年度 基本・実施設計 32～34年度 建設工事等 (債務負担行為の設定) <table> <tr> <th>事業名</th><th>期間</th><th>限度額</th></tr> <tr> <td>広島特別支援学校校舎増築の基本・実施設計業務委託</td><td>31年度</td><td>9,000万円</td></tr> </table> 一般整備 700万円	事業名	期間	限度額	広島特別支援学校校舎増築の基本・実施設計業務委託	31年度	9,000万円
事業名	期間	限度額						
広島特別支援学校校舎増築の基本・実施設計業務委託	31年度	9,000万円						
幼稚園整備	3,560万円 財源内訳 〔市債 2,660万円〕 〔一般財源 900万円〕	トイレの洋式化 210万円 和式から洋式への便器取替に計画的に取り組む。(30年度 3園) 一般整備 3,350万円						

事業名	事業費	説明
知・徳・体の調和のとれた教育の推進	(6億1,757万8千円)	
(1) 確かな学力・体力をはぐくむ教育の推進	2億801万8千円	学力向上の推進 6,425万3千円
	財源内訳	
	国庫補助金 68万8千円 国庫委託金 1,246万2千円 一般財源 1億9,486万8千円	一人一人の児童生徒が、確かな学力、異文化への理解に資する英語力、豊かなコミュニケーション能力を身に付け、可能性を最大限発揮できるよう、個に応じたきめ細かな質の高い教育を推進する。 (拡充内容) ①特別研究校を指定し、個別の学習支援が必要な児童生徒に対して算数・数学に係る補充学習等を行い、基礎学力の定着を図る。 ②広島中等教育学校を英語教育の研究校と位置付け、広島市立大学のeラーニングを活用した英語学習などを行い、英語力やコミュニケーション能力向上を図るための効果的な教育方法の開発を目指す。 ③英語教育実践研究校を指定し、広島中等教育学校で成果があった英語教育のプログラムに取り組むとともにその効果を検証する。 ④ネイティブ・スピーカーから生きた言語を学ぶことで、身近な話題を理解・表現できる英語能力を育成するため、中学校の英語指導助手を増員する。 配置人数 8人→9人 ⑤市と連携協力協定を締結している大学が実施する教員向けの海外語学研修に教員を派遣する。

事業名	事業費	説明	明
(2) 豊かな心をはぐくむ教育の推進	1億1,090万5千円	「ひろしま型カリキュラム」の推進	1億2,953万9千円
		小学校5年生からの「言語・数理運用科」や「英語科」を柱とする「ひろしま型カリキュラム」を市立の全小・中学校で実施し、言語と数理の運用能力の向上を図る。	
		幼児教育の推進体制構築事業	1,246万2千円
		幼児教育の更なる質の向上を図るため、幼稚園、保育園等を巡回して指導、助言などを行う幼児教育アドバイザーを育成・活用する。加えて、幼稚園教諭、保育士等の体系的な研修計画の策定に向けた検討を行う。	
		体力向上推進事業	176万4千円
		体力向上推進校における授業改善や体育授業の質の向上を図るための研修会等を実施することにより、児童生徒の体力の向上を図る。	
		道徳教育推進事業	26万7千円
		道徳性をはぐくむ教育	18万2千円
		道徳教育研究校を指定し、地域の先人の伝記等を題材として、指導方法等の実践研究を行う。	
		広島グッドチャレンジ賞の実施	8万5千円
		定期的な地域清掃活動や福祉施設でのボランティア活動などで社会や地域に貢献した生徒や生徒会等を表彰する。	
財源内訳			
国庫補助金 3,676万7千円			
一般財源 7,413万8千円			

事業名	事業費	説明
(3) その他教育の推進	2億9,865万5千円 財源内訳 [一般財源 2億9,865万5千円]	不登校等対策ふれあい事業 1億1,063万8千円 ふれあいひろば推進員が不登校や不登校傾向にある児童生徒に対して、学校内外で相談活動等を行う。 教師力養成事業 160万円 小・中学校教諭を志す大学生等を対象に、実践的な経験を積むための実地研修や広島らしい教育の取組等について理解を深めるための集合研修を実施し、本市の教育を担う人材の育成を図る。 特別支援教育アシスタント事業 2億9,705万5千円 小・中学校等の通常の学級に在籍する肢体不自由児、発達障害児等を対象に、特別支援教育アシスタントを配置し、学校生活等における支援を行う。
平和教育の推進	34万6千円 財源内訳 [一般財源 34万6千円]	中学生による「伝えるHIROSHIMAプロジェクト」の実施 中学2・3年生の中からメッセージ発信者を選考し、8月6日に平和記念公園を訪れる海外の人々に対して、英語で平和へのメッセージを伝える。

事業名	事業費	説明	明
いじめに関する総合対策	(3億6,582万1千円)	「いじめは決して許されないことであり、また、どの学校でも、どの子どもでも起こりうるもの」という認識のもと、以下の取組を継続し、いじめ対策に万全を期す。	
(1) いじめの未然防止	3,419万円	家庭、地域、学校が連携し「いじめを生まない風土」を醸成	
	財源内訳		
	〔 国庫補助金 960万円 一般財源 2,459万円 〕	「みんなで語ろう！心の参観日」の実施	212万円
		各学校において外部講師（心の先生）を招へいした道徳の授業を公開し、その内容について、児童生徒や保護者・地域住民が意見交換を行う。	
		まちぐるみ「教育の絆」プロジェクトの実施	2,880万円
		プロジェクト実施校の学校協力者会議にコーディネーターを配置し、家庭・地域による教育支援活動や体験活動、学校による地域貢献活動の企画・調整を行い、様々な取組を実施する。	
		(拡充内容) 実施校 24校→32校	
		いじめ防止対策推進審議会等の運営	327万円

事業名	事業費	説明
(2) 認知したいじめへの適切な対応	3億3,059万4千円 財源内訳 [国庫補助金 9,093万3千円 一般財源 2億3,966万1千円]	早期発見・早期対応の強化 小・中学校の生徒指導体制の強化 3,294万5千円 いじめの早期発見・早期対応を行うため、小・中学校に生徒指導主事を配置するとともに、いじめ発生のおそれがある重点対応校に生徒指導主事を補助するための非常勤職員を配置する。 (拡充内容) 非常勤職員の配置の拡充 小学校30人 →小学校30人・中学校13人 スクールカウンセラーの配置 2億3,255万6千円 小、中、高等学校及び特別支援学校にスクールカウンセラーを配置し、いじめの早期発見・早期対応の強化を図る。 (拡充内容) ①27学級以上の小学校 4時間/週→6時間/週 ②24学級以上の中学校 8時間/週→12時間/週 スクールソーシャルワーカーの配置 4,347万6千円 社会福祉等の専門的な知識・技術を用いて、問題を抱える児童生徒等の支援を行うスクールソーシャルワーカーを配置し、いじめの早期発見・早期対応の強化を図る。 (拡充内容) 配置人数 12人→14人

事業名	事業費	説明
(3) 教職員の資質向上	103万7千円 財源内訳 〔 一般財源 103万7千円 〕	生徒指導支援員の配置 2,161万7千円 問題行動を起こす児童生徒や学校への支援を行う生徒指導支援員を配置し、いじめの早期発見・早期対応を図る。 生徒指導主事等の集中研修 小・中学校の生徒指導体制の充実を図るため、生徒指導主事等を対象とした集中研修を実施する。 (拡充内容) いじめ問題に関する専門の講師を招へいし、生徒指導主事や管理職を対象とした研修を新たに実施する。

事業名	事業費	説明
私学助成	14億1,489万7千円 財源内訳 〔 国庫補助金 4億3,044万4千円 一般財源 9億8,445万3千円 〕	私立幼稚園就園奨励費補助 12億9,988万5千円 保護者の経済的負担の軽減及び就園率の向上を図るため、入園料及び授業料の一部を助成する。 私立幼稚園振興事業補助 5,109万3千円 教職員研修費、教材教具整備費、協会事務費 私立幼稚園特別支援教育研究事業補助 42万2千円 研究事業に要する経費 私立中学校振興事業補助 192万6千円 教職員研修費、教材教具整備費 私立高等学校振興事業補助 4,757万2千円 教職員研修費、教材教具整備費 私立高等学校部活動パワーアップ事業補助 1,353万9千円 大会出場引率旅費、指導者招へい費、指導教員研修費 外国人学校振興事業補助 46万円 教職員研修費

事業名	事業費	説明
家庭・地域社会・学校の連携強化	3,731万6千円	子どもの安全対策推進事業
	財源内訳	
	〔 国庫補助金 591万3千円 一般財源 3,140万3千円 〕	
		「子ども安全の日」事業の実施 615万3千円
		毎月22日を「子ども安全の日」とし、学校や家庭、地域で様々な取組を実施する。
		地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業 1,774万円
		地域学校安全指導員による学校巡回指導や学校安全ガードボランティアへの指導・助言を行う。
		公立幼稚園における緊急通報装置の運用 142万2千円
		登下校体制整備 386万2千円
		新小学1年生への防犯ブザーの支給
		見守り・巡回活動 324万円
		「こども110番の家」事業 32万8千円
		設置数 1万3,119か所
		児童生徒の自己防衛意識の高揚 435万6千円
		小学校全クラスでの「安全意識啓発マップ」の作成、小・中学校教員への研修の実施
		子どもを守るまちづくりの推進 21万5千円
		保護者・地域の意識啓発や、校長等のリスクマネジメント能力向上のための講演会の開催などを行う。

事業名	事業費	説明
青少年の育成・成長支援	5,293万1千円 財源内訳 〔 国庫補助金 68万7千円 一般財源 5,224万4千円 〕	電子メディアに関する講習会等の開催 96万6千円 インターネットの危険性や正しい使い方等の啓発を行うため、児童生徒や地域住民等を対象に、電子メディアに関する講習会等を開催する。 10（テン）オフ運動の推進 37万3千円 「夜9時以降はスマートフォン等による送信をしない」、「遅くとも夜10時までには使用をやめる」、「家族で話し合っスマートフォン等の使用に関するルールをつくる」という10（テン）オフ運動を展開する。 少年サポートセンターひろしまの運営 5,159万2千円 非行防止対策の総合的かつ効果的な施策を推進するため、市教育委員会職員と県警察職員が常駐する少年サポートセンターひろしまを運営する。

事業名	事業費	説明	明
子どもの居場所の確保	10億9,208万9千円	児童館の整備	3億3,850万円
	財源内訳	新設	2億5,450万円
	〔 国庫補助金 1億9,050万7千円 県補助金 1億1,742万7千円 負担金 85万9千円 雑入 906万7千円 市債 2億4,650万円 一般財源 5億2,772万9千円 〕	安児童館	6,800万円
		場 所 安佐南区上安二丁目 (スケジュール)	
		29年度 実施設計	
		30年度 校舎改修工事	
		みどり坂児童館	1億6,100万円
		場 所 安芸区瀬野西一丁目 (スケジュール)	
		29年度 地質調査、実施設計	
		30年度 建設工事	
		原児童館	2,550万円
		場 所 安佐南区西原四丁目 (スケジュール)	
		30年度 プール解体工事、実施設計	
		31年度 建設工事	
		耐震化・大規模修繕	8,400万円
		耐震診断 1 館	300万円
		耐震補強・大規模修繕工事 3 館	8,100万円

事業名	事業費	説明
		⑧ 放課後児童クラブ延長事業 4,975万7千円 本市が開設する全ての放課後児童クラブにおいて、一定の利用者負担のもとで、長期休業中の朝の開設時間延長を実施する。 延長時間 長期休業中の朝8時から8時30分まで (土曜日を除く。) 利用期間 学年始休業、夏季休業、冬季休業、学年末休業 利用開始 30年7月の夏季休業から実施 利用料金 年間2,400円。 ただし、市民税非課税世帯は無料とする。 同一世帯で2人以上利用する場合、2人目は半額、3人目以降は無料とする。 放課後児童クラブの増設 4,654万6千円 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の経過措置が31年度末で終了することを踏まえ、クラスの過密化への対応を図るため、放課後児童クラブを計画的に増設する。 開設時期 31年4月 対象学区 7学区 広瀬、青崎、中筋、長束、矢野、五月が丘、五日市観音西

事業名	事業費	説明
		民間放課後児童クラブ運営費等補助 6億5,458万6千円 民間事業者に対する補助を行い、クラスの大規模化、過密化への対応を図る。 継続 30学区 42クラス 新設 7学区 尾長、比治山、大芝、天満、庚午、草津、原 (拡充内容) 本市が開設する放課後児童クラブと同様の開設時間延長を行った場合、その運営費を補助する。 放課後児童クラブ職員等専門研修 270万円 広島広域都市圏内の市町と連携し、放課後児童クラブ及び児童館の職員に対する専門研修を実施する。